



佐高 SGH ファイル

高1 課題研究 21班 空き屋で民話！！ フィールドワーク(FW)の実践

平成30年12月8日(土) 13:30~14:30、高校1年生の21班の5名は、佐野市の空き屋をお借りして、「**空き屋で民話！！**」というイベントを開催することができました。**佐野ふるさと民話の会**の皆様にご協力をいただき、佐野に伝わる民話など8つのお話をさせていただきました。生徒たちは、地域活性化するにはどうすればいいかという課題に6月から本格的に取り組み始め、住みたい田舎No.1に選ばれた栃木市の事例などを参考に、どんな企画がいいかほぼ白紙の状態から、自分たちで計画を立て、関係団体と交渉し、実施することができました。集客のために近隣の小学校にチラシを配布したり、当日も近所に声をかけイベントのことをお知らせしていました。参加者は少なかったものの実際にイベントを行ったことから得たものは大きかったと思います。



1 課題研究の主な流れ

- (1) リーダース・シンポジウムで栃木市都市整備部住宅課長の**大野和久氏**よりお話を伺う。
- (2) グループを結成し、キーワードマッピングなどで**アイデア**を出し合った。その中の1つが**空き屋**であった。
- (3) **リサーチクエッション**と**仮説の設定**をする。知恵を絞るがなかなかよい設定ができない。
- (4) **研究計画書**を作成するが、**大まかにしか**できない。
- (5) **フィールドワークの実実施計画書**を立て、**予約**をとり、**栃木市役所**を訪問した。
- (6) **地元**で活動するため、**佐野市役所**に訪問し、**空き屋**などの**情報**を得る。
- (7) **佐野市役所**と**佐野ふるさと民話の会**と**連絡**を取りながら、**イベントの時期**など**調整**をはかる。
- (8) **研究内容**をまとめる**時期**となるが、**空き屋**での**イベントの時期**が**発表**に間に**合わ**なくなる。
- (9) **発表用**の**パワーポイント**作りを行うが、**イベント**を行っていないので**悔しい**思いをする。
- (10) **中間発表**を行う。思ったより**好評**を得て、**ほっと**する。
- (11) **領域別発表会**で、**イベント実施**の**予定**を含め**発表**する。
- (12) **佐野市役所**と**佐野ふるさと民話の会**の**援助**で**空き屋**で**イベント**を行う。

2 21班 メンバー (5名)

1年2組 前川大空さん(リーダー)、1年1組 嶋田準太郎さん、1年2組 浦沼颯大さん、
1年2組 深谷空来さん、1年4組 小暮美月さん



21 班のメンバー



佐野ふるさと民話の会の皆様



3 佐野ふるさと民話の会の皆様にお話ししていただいた民話

- 熊倉さん「とぶ鳥喜八」、「雪ん子」
- 北岡さん「唐沢の井戸」、「秀郷のむかで退治」
- 高橋さん「いたちの子守歌」、「おしどり塚」
- 冥加さん「真田親子犬伏の別れ」、「とんち坊主」

4 メンバーの感想

今回の空き家での民話のイベントで仲間と一つの大きな目標に向かって努力をしたり、行動に移したりする楽しさを学ぶことができました。それと共に実際に問題なくイベントを終えることができ、達成感を味わうことができました。しかし良いことばかりではなく、佐野市はまだまだ多くの課題を抱えていると感じていて、次回の課題研究では、今回得ることができた経験を糧にして、魅力的なもので人を惹きつけ、多くの人々の意識を変えられる研究を行いたいと思いました。

1年2組 前川 大空

今回空き家で民話のイベントを開き1番印象に残ったのは集客の大変さでした。事前準備が足りずあまり多くの人を集めることが出来なかったのはとても悔しかったです。しかし、お越し頂いた方からは「若い人達が地域のために頑張っている姿に感動しました。」や「これから頑張ってください。」などの言葉を頂き、これまでの課題研究活動がとても有意義な時間だったと改めて感じる事ができ、とてもためになりました。これからの活動も地域のためにより一層頑張っていきたいと思いました。

1年4組 小暮 美月

今回のイベントではあまりお客さんが来ませんでした。自分にとっていい経験になりました。また、来てくださったお客さんにまた来たいというお声をいただきました。さらに、このイベントを開くにあたりたくさんの方々から協力していただきました。ありがとうございました。

1年2組 深谷 空来

夏休みから考えていた計画を実際に出来たので良かったです。お客さんは少なかったけど民話が始まる前にいろいろ話せて良かったです。さらに佐野についての色々な民話を聞いたので良かったです。

1年2組 浦沼 颯大

課題研究が始まった時から空き家のイベントについて考え、実行に移すことができ、様々なことを学びました。イベントの企画には、会場設定やスケジュール合わせ、宣伝など色々なことをしなければならぬということが改めてわかりました。次の課題研究では、この経験を生かして、地域により貢献していけるようにしていきたいと思えます。

1年1組 嶋田 準太郎